

はじめに

本書は、会話力を高めるための本です。そして、ここで注目するのは、「コミュニケーション・ストラテジー」という会話をハンドリングするための技法です。

英語で言いたいことをなかなか言えないということを経験する人は少なくないはずです。英語は日本語のように自由に使えないということは事実です。そこで、英語での会話に向き合うことに尻込みしてしまう人がいます。それでは、会話力は、いつまでたっても身に付きません。会話力は、実際の会話実践を通してのみ、高めていくことができるものであるからです。

しかし、いきなり会話といわれても、英語に自信がないと、困ってしまいます。本書は、そういう人たちのために作成しました。私たちは、日本語でも会話の流れを調整しながら相手とのやりとりを行っています。その際に、繰り返しを求めたり、言い直したり、理解を確認したり、誤解を解いたり、などといったことをしているはずです。そうすることで、会話の流れを調整しているのです。

英語を使う際には、日本語で自然に行っているこうしたことを、自覚的にそして戦略的に行うことが必要です。会話の流れを作り、会話の流れに乗り、そして会話の流れを変えらるということを経験的に行うのです。自分が誤解されていると感じた時、そのままやり過ごすことはよくありません。「それは誤解ですよ」という旨をちゃんと伝える必要があります。また、自分の言ったことを相手がちゃんと理解しているかを確認する作業も必要です。大切なことについては、確認作業をしないと、後で裏切られた気持ちになることすらあります。

本書では、語句の意味がわからないとき、相手がこちらの言いたいことを理解しているかどうかわからないとき、話題を変えたいとき、誤解を解きたいなどの場面で、英語ではどう表現すればよいか——これを「コミュニケーション・ストラテジー」と呼びます——などについて学んでいきます。

ここで紹介するコミュニケーション・ストラテジーを身につければ、積極的に英語でのやりとりに参加していくことができるはずです。会話力は、実際にどれぐらい英語で会話をしたかという実践によって決まります。英語での会話に臨む際の「武器」として、本書で紹介する 15 のストラテジーをぜひ身に付けるようにしてください。

本書の使い方

1 回に 1 つのストラテジーに注目する。教室であれば、以下のような手順の活動が標準的です。

日本語では与えられた場面どう言うかを軽く話し合う。

英語のスキットの音読練習をクラスで行い、該当箇所（下線部）に注目する。

ペア（場合によっては 3 人グループ）で、指定されたスキットを仕上げる。スキットのペアへの割り当ては、教師が行う。

何組かのペアを指定して、クラスの前でスキットを演じてもらう。一つのコミュニケーション・ストラテジーに複数のスキットがあります。すべてのスキットを演じるようにしましょう。

自習の場合は、各ストラテジーを使ったスキットを音読する訓練をしてください。その際に、下線の表現に注目して、それがどのような働きをしているかを確認することが大事です。スキットの状態を想像しながら、音読を行うようにしてください。

田中茂範

PEN 言語教育サービス代表

Characters

Lily Robinson			
James Stevens	ジェームス・ステイブンス		
Emma Wilson	エマ・ウイルソン		
Thomas Adams	トーマス・アダムス		
Barbara Green	バーバラ・グリーン		
Ava Adams	エヴァ・アダムス		
Ethan Adams	イーサン・アダムス		

Table of Contents

Scene 1.繰り返しを求めるとき.....	4
Scene 2.語句の意味がわからないとき.....	7
Scene 3.具体例がほしいとき.....	9
Scene 4.さらに詳しい説明がほしいとき.....	12
Scene 5.相手の言っていることがなんとなくはっきりしないとき.....	14
Scene 6.自分の理解が合っているかどうか確認したいとき.....	18
Scene 7.相手が自分のことを理解しているかどうか確認したいとき.....	20
Scene 8.自分が誤解されていると感じたとき.....	23
Scene 9.誤解を訂正したいとき.....	27
Scene 10.話題を変えたいとき.....	30
Scene 11.話題を変えたくないとき.....	33
Scene 12.話題を回避したいとき.....	36
Scene 13.脱線した話を元にもどしたいとき.....	38
Scene 14.表現や即答に窮したとき.....	41
Scene 15.会話に割り込みたいとき.....	47

1. 繰り返しを求める

相手が言ったことが聞き取れなかった、何と言ったかわからなかった際には、繰り返しを求める表現をしましょう。

A: Hey, Lily. Where have you been?

やあ、リリィ、どこに行ってたんだい？



B: I fell asleep in the lot.

空き地で寝てしまったの。



A: You what?

何だって？

B: I was talking to Alice, and I fell asleep in the lot. I didn't mean to.

アリスと話してて、空き地で寝てしまったの。そんなつもりじゃなかったんだけど。

A: Turn left at the Apollo theater, keep going...then turn left again and then turn right at the second set of traffic lights.

アポロ劇場を左に曲がり、しばらくそのまま進み、また左に曲がり、続いて二番目の信号を右です。



B: I'm sorry. Could you repeat that, please?

すみません。もう一度お願いしていいですか。



A: Yes, left at the cinema, then left again, and then right at the second set of lights.

ええ、劇場を左、次を再び左、そして二番目の信号を右です。

A: You're a high school student, right? What kind of part-time job are you looking for?

君、高校生だよ。どういったアルバイトを探しているの？



B: I'm (...)

私は…



A: I'm sorry. I didn't hear you. What did you say?

すみません。聞き取れなかったんですが。なんて言いました？

B: I said, "I'm looking for (...)."

私は…を探していると言ったんです。

A: I still can't hear you. Please speak a little louder.

まだ、聞えません。もう少し大きな声で話してもらえますか。

A: I'm sorry, but I'm getting a little confused.

すみませんが、ちょっと話がわからなくなってきました。



B: Oh, the point I'm making is simply that the proposed plan won't work.

つまり、言いたいことを簡単にいえば、提案された計画でうまくいかないだろうということです。

A: According to the data, this should prove that...

データによると、これで証明されるのは...



B: Sorry to interrupt you, but I'm not quite following you. Could you explain that previous section once more?

話の途中申し訳ありませんが、どうもついていけていないようです。もう一度、その前のところを説明してくれませんか？



A: Okay. We studied how many hours are necessary to learn English, and ...

わかりました。私たちは英語を学ぶのに何時間かかるか研究しました。で...

繰り返しを求める際の表現

You what?

Could you repeat that, please?

Sorry to interrupt you, but I'm not quite following you.

I'm sorry. I didn't hear you. What did you say?

I'm sorry, but I'm getting a little confused.

Could you explain that previous section once more?